

このおじさん2人が世界を席卷!!

本年度

アカデミー賞® 大本命!

堂々5部門ノミネート!

作品賞・主演男優賞・助演男優賞・脚本賞・編集賞

世界の映画賞58受賞! 139ノミネート! [1/23日現在]

これでもか!
という賞の数の理由は?
この2人は何者で、
一体何をするのか?
答えは中面で!



アカデミー賞®ノミネート
ヴィゴ・モーテンセン

アカデミー賞®受賞
マハーシャラ・アリ

グリーンブック

監督: ピーター・ファレリー
脚本: ニック・バロンガ & ブライアン・カーリー & ピーター・ファレリー

出演: ヴィゴ・モーテンセン「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズ「はじまりの旅」、マハーシャラ・アリ「ムーンライト」「ドリーム」、リンドラ・カーテリーニ「アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン」

提供: キヤガ、カルチュア・パブリッシャーズ 配給: キヤガ GAGA★

Participant media | DREAMWORKS PICTURES | GAGA★

ふたりのおじさん徹底解剖



インテリで超紳士。天才がゆえ
繊細で、意外とお酒に飲まれがち。

腕っぶしが強く、機転をきかせる頭のよさももつ、
たよれるおじさん。ただ、とにかくガサツ。

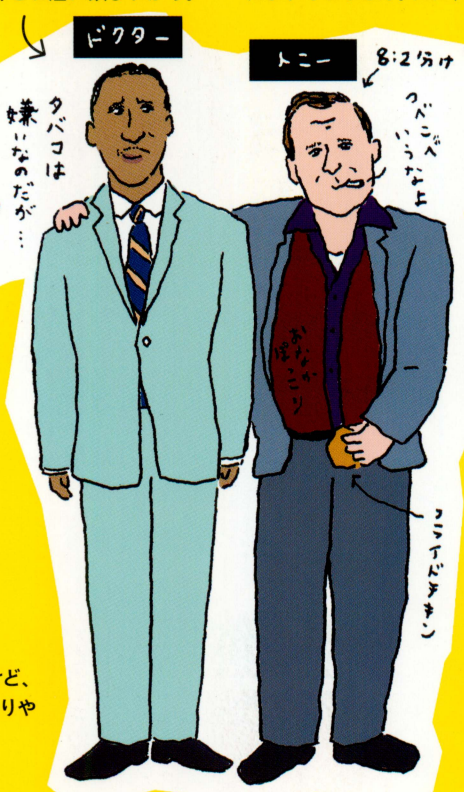
おしゃれすぎて、
たまに変な格好をしている



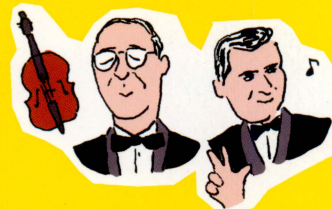
営業スマイルはがんばる



ひとりが好きだけど、
けっこうさびしがりや



仲間のおじさん

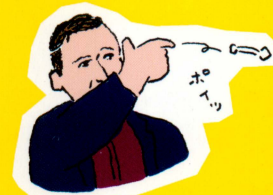


伴奏のふたり。
ドクターのことをとても
理解しているけれど、
ほかはいろいろ適当。



なぜかいつもトニーの家にいる。
ただならぬ味があふれている
と思ったら、役者ではなく、
リアルトニーの親戚だそう!

なかむらみ (イラストレーター、「おじさん図鑑」著者)



フライドチキンの骨は、車窓からなげる



ピザは切らずに折り畳んでばかり



ムキムキというかムチムチ



時は1962年、ガサツで無学なイタリア系用心棒トニーは、カーネギーホールに住む黒人天才ピアニストドクター・シャーリーにスカウトされる。オファーされた仕事は、コンサートツアーへの同行。行き先は差別の色濃い〈南部〉。「いやいや、黒人のアンタと南部はゴメンだ。」戻込みして断るトニーだったが、結局仕事を受けるハメになり……。2人は〈グリーンブック: 黒人用旅行ガイド〉を頼りにツアーに出発するのだが一。異なる世界に住む二人の壮大なズレに笑い、ツアーの本当の目的に胸を熱くし、極上のラストにスタンディングオベーションを贈らずに入られない、痛快で爽快、驚きと感動の実話!

監督: ピーター・ファレリー「メリーに首っつけ」「愛しのローズマリー」
出演: ヴィゴ・モーテンセン「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズ「はじまりへの旅」、マハーシャラ・アリ「ムーンライト」「ドリーム」、リンドラ・カーテリーニ「アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン」
提供: キヤガ、カルチュア・パブリッシャーズ 配給: キヤガ GAGA★

3.1 (FRI) さあ、旅にしよう!

@greenbook_jp
www.facebook.com/greenbook.jp
@gagamovie

GAGA シアター
特別映像チェック
GAGAシアター 検索

今、世界にはこの笑いと涙が必要だ!

ドン・ピアノはトニーの食いぶち、ところがドン・ピアノのkeyはトニーの人生の扉のkeyに。目的地に到着した彼らに**グリーンブック**は資源ごみになった。

1962年の事実を知ることが明日から教えてくれるなあ。

それにしてもトニーは嫁はん選ぶ才能マジだや!

綾戸智恵さん [ジャズシンガー]

内包する人種問題をギチギチに押し出すことなくユーモアをもってパディ映画、または家族の物語、いやいやもっと広げて

人間の物語にした一級品!

石川三千花さん [イラストレーター]

“いい奴らの物語”。

やっぱりこういう映画が大好きです。

石塚真一さん

[漫画家「BLUE GIANT SUPREME」]

心にはドアがあって、その鍵を持つ者だけが友になれると思いがちだが、

実際にあるのはドアでなく壁だ。

それを壊せた者だけが真の友情を手にする。

いしわたり淳治さん [作家・音楽プロデューサー]

アンバランスな二人から生まれる空気感にすっかり入り込んでしまった!

チャーミングで笑える作品なのに、

何度も胸が熱くなった!

IMALUさん [タレント]

天才ピアニストは品格と笑顔をもって黒人差別と戦った。楽器を弾かない僕たちもまた笑顔をもって偏見と戦った。

この映画を見終わったらあなたはきっとこう思う。

差別と偏見はクソだ。グリーンブックと

ゴールデンボンバーは最高だ、と。

ゴールデンボンバー **歌広場淳**さん [ミュージシャン]

人としての尊厳を生き方で示してくれた、ふたりの相棒。パワーではなく、品格で。ここからアプローチ!

生方ななえさん [モデル]

水と油の二人は“パディ”となり、人生の二重奏を奏でる“デュオ”へ。

そして最悪の二人は“最強のふたり”

へと変奏していく。優しい笑いと

暖かい涙、“最強の希望”くれる傑作!

小島秀夫さん [ゲームクリエイター]

小さく、ささやかに灯ったこの奇跡は、

すべての人間が諦めてはならない

希望だと思ふ。

佐藤二郎さん [俳優]

ヴィゴ・モーテンセンの魅力が溢れてダダ漏れになっている…。

最高にセクシーだ。絶対に交じり合うことがない男2人の心が溶けていく様が堪らなく愛おしい

滝藤賢一さん [俳優]

時代、歴史、差別……全部乗り越えていく二人のロードムービー。ほっこりお腹のトニー・リップ、

泣き笑いの表情のドクター・シャーリー、

どちらもいとおしくてたまらない。

中江有里さん [女優・作家]

ふたりが愛おしくて幸せだ!

音楽と文化と旅と食べ物人類共通の

言語だ! 人と人とがわかり合うのに

他に何がいるのだろう。

二ノ宮知子さん

[漫画家「のだめカンタービレ」「七つ屋志のぶの宝石匣」]

心は、古き佳きバディ・ムーヴィ。

装いは、進化したVFXによる時代の再現。

この両輪に乗ったヴィーゴと

マハーシャラの風雅の名演に酔う。

原田真人さん

[映画監督『検察側の罪人』]

観終わった後の心地良い余韻が忘れ難く、2度観てしまいました。

こんな心揺さぶられるロードムービー、

僕もいつか書いてみたい!

福田靖さん [脚本家『HERO』]

綺麗過ぎても、汚過ぎても生きづらい。

別に、黒くてピカピカの

スタンウェイじゃなかったって、

あなたの演奏は最高だったぜ。

誉田哲也さん

[小説家「ストロベリーナイト」シリーズ]

人が人と関わり、理解することの、

面倒くささと素晴らしさを、

最高のロードムービーとして

見せてくれた。

トニーとドクターの友情に、胸が熱くなり、

ラストにはニヤッとさせられる。しばらく

会っていない友に、無性に会いたくなった。

前田哲さん

[映画監督『こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話』]

人種問題が大きなテーマだが、ユーモア

たっぷりに笑いを交えて温かく描かれていて、

心にじんわり優しい気持ちが染み渡る

素晴らしい作品。家族や友達を

ギュッとハグしたくなった。

前田典子さん [モデル/タレント]

人生を変えるかもしれない旅には、ロードサイドの酒場とご当地ジャンクフード。あとは、語らう仲間がいればいい。本作を見たあと、たまたまなく

旅に出たくなった。

丸山ゴンザレスさん [ジャーナリスト]

女心をくすぐるチャーミングな男たち♡

透明人間になってご一緒したかったなあ♪

いつの間にか笑ったり泣いたり

心を動かされている私。チグハグなのに

ピッタリとくる小気味好き!!こんなこじやれた

大人の旅に私も連れてって♡

萬田久子さん [女優]

楽しくて胸を打つ友情。他者を受け入れる互いの心の機微が心地良く深く伝わります。

2人のやり取りをもっと見ていたい!

続編希望。

八木亜希子さん [フリーアナウンサー]

差別や偏見があっても変わるチャンスはあるし、

そもそもその根っこって何? と、

気づかせてくれる傑作。

凸凹コンビの美しき友情の芽生えに大感動。

よしひろまさみちさん [映画ライター]

ドンが叩くピアノの音色は南部に深く

入れば入るほど悲しみと怒りを増し、

炸裂する。公民権運動のさなか、

アメリカを横断する人種間の活断層が浮き上がり、

ドンとトニーをリアルに結びつけていく。

主題とは関係ないけど、ドンの洋服が格好いい。

「欲しい!」と叫んだ。

ロバート キャンベルさん

[日本文学研究者]

※50音順

